

美德の医療が医療事故を駆逐する

国際医療リスクマネジメント学会会長・理事長
酒井亮二

古来、医は仁術、と叫ばれる。

遺伝子医療が全盛期の今、病気を物質科学のみで理解する風潮が世界を席卷している。

生命物質に対する技術開発に巨額な投資と収益が医療行為という観点から、物質科学のみが医学であるという錯覚がいたるところに蔓延している。

外科医療であっても、予後には患者に対する温かな強い支援が大きな影響を及ぼす。成功した手術だけで治癒しているのではない。

医は仁術とは、美德の医療が不可欠であることを意味している。

美德の医療の対局は、大罪の医療。

乱雑な医療行為が医療事故の真の原因である、という側面もある。

良銭は悪銭を駆逐する。

美德の医療が大罪の医療を減らす。

美德に満ちた医療が医療事故を減らす。